

有水中学校校長室より

令和5年3月24日(金)

文責 木宮 崇子

修了式の話

進級おめでとうございます。通知表の裏にある修了証書は一年一年の区切りの証明となるものです。また、通知表は自分の一年間の学習の評価です。一喜一憂することなく、自分は何が強みで、何が弱点なのかを確認してください。この一年間はどんな一年間だったでしょうか。

さて、皆さんは、このような場で誰かが話をする場合に、その内容が心の中に残っていますか。先日の卒業式の際に、PTA会長の野口さんが話された内容を復習してみたいと思います。とてもためになる内容だったのでもう一度聞いて下さい。

【皆さんは努力によって手に入るのは成功だと思っているかもしれませんが、実は努力で手に入るのは成功でなく、成長です。成功するかしないかは運や才能の要素もありますが、成長するかしないかは自分の努力次第だということをよく覚えておいて下さい。努力は決して無駄ではありません。テストで満点をとることよりも、大会で優勝する事よりも、努力を重ねて成長し続けることの方がずっと大切です。】

こう話しておられました。この話のとおり、これからの人生で役に立つものそれは、成功ではなく成長でしょう。何かに向かって行動するその時間が自分を成長させてくれます。心の中で思っているだけでは、成長しません。花の種は植えただけでは咲きません。肥料をやったり、欠かさず水をやったり、日当たりを工夫したりしますね。何もしないで花が咲くのでしょうか。先日までWBCが行われていましたが、打者はバットを振らなければヒットになる可能性は0なのです。何もしないで自分の願いが叶うのでしょうか。わからない教科がわかるようになるのでしょうか。誰かが願いを叶えてくれるのでしょうか。自分を一番助けてくれるのは、親でも、先生でも友達でもなく成長した自分です。

この一年間で、どれだけ成長できたか言葉にして説明することができますか。次の学年に進級したら、今自分をどうすれば成長させることができるのか、考えてみて下さい。そして来年の今頃、「自分はこんなところが成長した」と自信たっぷりに話してくれることを期待しています。

四月からのみなさんの変化を楽しみにしています。

山桜が咲き誇り、体育館前の桜もちらほらと開花しています。今年は花見をおおっぴらにできるかな、などと考えながらも、桜咲くこの時期は心が落ち着きません。学校という場所は年度の入替わりの時期は卒業していく生徒、転勤していく職員、新1年生の入学など人の入れ替わりがあり、心が揺れます。新年度がスタートするときはまだ頼りない最上級生の姿に心細く、あどけない新入生に不安感さえ覚えるものです。そんなこんなで、桜の花を眺めるときは心穏やかではありません。今年一年間が過ぎ去り、あと数日で新年度です。今年一年間の思い出の余韻に浸っている暇はありません。次年度の有水中学校の生徒たちが、たくましく、豊かな心持ちで一年間を過ごしていくことができるよう、そして、一段と成長することができるよう今からあれこれ取り組み始めていきます。

今年度一年間、本校の教育活動に多くのお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。次年度も、ご支援、ご協力を頂けますようお願い申し上げます。

春は移動が多くなります。少なくなったとはいえ、コロナも心配です。春休み中は、交通安全と健康には十分木をつけてください。